

# 令和5年度事業報告

## 1 両施設の事業結果概要

今期は新型コロナウイルス感染症がほぼ収束し、社会経済活動も立ち直りを見せ、福井県産業会館（以下「産業会館」という。）・福井県産業振興施設（以下「サンドーム福井」という。）両施設での催事開催状況は、ほぼコロナ禍前の水準にまで回復しました。

しかしながら、国際紛争や円安の影響などにより、電気・石油、原材料などの価格上昇は継続しており、エネルギー消費量の大きなサンドーム福井でのコスト増など、当財団を取り巻く事業環境は厳しさを増しました。

また、今年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、隣県の石川県と県北部でも大きな被害が生じたところであり、今後、観光産業、地域経済への影響が懸念されます。

こうした中、当財団においては、産業会館とサンドーム福井が密に連携して提案型営業活動を展開し、催事の複数回利用やコロナ禍により控えられていた催事の掘り起し、新規利用の開拓に努めました。

その結果、長期間の展示会、全国規模の大会での利用や北陸新幹線福井・敦賀開業に向けたイベントなど新規利用の増加により、利用日数、事業収益とも年間目標を達成することができました。

## 2 対処した両館共通の主な取組

### (1) 営業活動

- ・新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、各種イベント開催への需要回復が見込まれたことから、リピーターを中心に顧客満足度の向上に努めながら、積極的な営業を行いました。
- ・展示会等利用実績がある催事の同業種の事業者や、利用者に関連のある取引事業者に対し、過去の利用事例などを基に、丁寧に説明することにより、新規利用者の開拓に努めました。
- ・営業戦略会議（毎月開催）において、両施設営業担当が営業成果や課題、効果的な営業方法を検討するとともに、会議結果および営業実績を役職員全員が情報共有して、両施設一体となった営業を進めました。

- ・関係業界情報の収集とコロナ収束後の催事の開催増などを要望するため、3年ぶりに役職員によるコンサート主催者（新潟：7月・3月）、展示会等主催者（関西：12月）への県外訪問営業を実施しました。
- ・コロナ禍後のイベント業界の動向等を把握し、今後の営業活動に活用するため、新たな取組として、ウェブ上で催事関係業界誌（全国）担当者 と財団営業担当者との間で意見交換会を実施しました。（6月）

## **(2) 施設の維持管理**

- ・「施設が商品」という認識の下、経年劣化に伴う建物の機能低下を最小限度に留めるため、各施設設備の修繕・更新の時期を調整し、経費の平準化を図りながら、修繕・更新を予防的・計画的に行いました。  
  
また、使い勝手の良さの維持、安全・安心の確保に向け、法令等に基づく定期の点検および不良箇所の補修を確実に実施しました。
- ・良好な景観を保持するため、両施設において、財団役職員で敷地外周の植栽管理業務（剪定、除草・除草剤散布等）を実施しました。（4月～11月）
- ・両施設について、（一社）ふくいエネルギーマネジメント協会等が行う「省エネ診断」を受診し、各種設備の省エネ運用および改修等に関する提案を得ました。（6月）その取組として、本館および2号館空調設備のベルトを省エネ仕様ベルトに取替えました。（3月）
- ・夏季・冬季には、利用者の意向にちえつつ、デマンド監視装置を利用し、空調（冷暖房）・照明を効率的に運用することにより、消費電力量等の節減に努めました。

## **(3) 情報発信力の強化**

- ・昨年リニューアルしたホームページ（以下「HP」という。）にて、最新イベント情報や施設設備のスペック・利用料金など各種情報を分かりやすく迅速に提供するとともに、営業（利用者説明）にも活用しました。
- ・X（旧ツイッター）やメールマガジン（登録者数602人）などを活用し、週ごとに催事情報やリアルタイムのお役立ち情報の提供に努めました。

《今年度のHP累計閲覧数》

350,243回 内訳:産業会館 96,899回、サンドーム福井 253,344回

《各施設の閲覧の多いページ(トップページを除く。)》

産業会館:催事案内…県内来場者向けの情報提供

サンドーム福井:アクセスマップ…コンサートなど県外来場者向けの情報提供

#### (4) 産業観光の情報提供

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、「おもてなし宣言291」登録団体として、館内における新幹線や観光ポスターの掲示、県・市町パンフレットの設置とともに、漆器まつりなどの伝統工芸・新幹線開業関連イベントの情報提供に努めました。
- ・産業会館では、(一社)日本和紙クラフト協会から越前和紙で作られた胡蝶蘭などの提供を受け、本館常設展示場県産品紹介コーナーの展示内容を更新しました。(7月)
- ・サンドーム福井では、福井県立恐竜博物館のリニューアルを県内外の来場者等へPRすることを目的に、多目的ホールに恐竜ベンチや勝山市観光パンフレットなどによる特設広報コーナーを設置しました。(4～6月)

また、コンサートと同日に開催された「つつじ祭り(於:西山公園・5月)」や「メガネフェス(於:メガネ会館・9-10月)」と連携を図り、施設近隣にシャトルバス臨時バス停を設けるなど誘客に協力しました。

#### (5) 職員の育成等

- ・職員の営業力を強化するため、北陸財務局福井財務事務所の協力を得て、「北陸地域の景気動向や経済情勢」をテーマとして、両施設で職場研修会を実施しました。(6月、令和3年度から継続)
- ・職員の接客マナーの向上を図るため、外部コンサルタント講師を招き、近年増加傾向にあると言われるカスタマーハラスメント対応の内容も盛り込んだ接客・クレーム等対応研修を実施しました。(8月)

併せて、研修内容に基づき、「接客・クレーム対応マニュアル」を改正しました。

- ・ 職員の管理運營業務等に有益な資格取得を支援する制度を活用し、冬季の除雪作業に不可欠な大型特殊免許を職員2名が取得し、同免許の取得者は（職員11名のうち）6名になりました。

その他、フォークリフト運転免許、第一種衛生管理者、日商簿記3級、個人情報保護士等の資格をそれぞれ職員1名が取得しました。

## (6) その他

- ・ サンドーム福井は、令和5年度末で指定管理受託期間が満了することから、次期指定管理者（期間：令和6～10年度）への選定を申請し、県知事・県議会の審議を経て、次期指定管理者に選定されました。（12月）
- ・ 入札事務の効率化、競争性の向上、入札参加者の負担軽減を図るため、従来の紙入札制度に加え、新たに入札参加者が郵便を通じて入札を行う「郵便入札制度」を導入しました。（12月）

《郵便入札最初の入札案件》

産業会館本館展示場にて使用する機の購入(130台)

- ・ 「ふくいSDGsパートナー（令和4年6月登録）」について、前期の取組の発展を図り、今期は「次世代を育てる」ことに重点を置き、自主企画事業の内容を充実しました。

《自主企画事業の内容》

おもしろフェスタ…4年ぶりに開催。従前より子どもたちの体験ブース数を増加

地域感謝イベント…大手企業との協力により「プレパパ・プレママセミナー」を開催

- ・ 「ふくい健康づくり実践事業所」・「健康経営優良法人2023」認定法人として、職員の健康管理や健康増進への取組を進めました。引き続き、「健康経営優良法人2024」に認定されたところであり、働く環境を整えるウェルビーイング経営を推進していきます。（3月）

《今期の主な取組》

全職員が「メンタルヘルス講習(7月)」、「健康運動講習(2月)」を受講

職員がスマホアプリ「ほやほやウォーク」に登録し、ウォーキング活動を実践(10～11月)

- ・ ふくい桜マラソン実行委員会等が開催した、令和6年能登半島地震被災地に義援金を贈る「【被災地支援チャリティ企画】サンドームラン」に共催し、参加者募集等に協力しました。（1月）

- ・インボイス制度（10月）、改正電子帳簿保存法（1月）について、必要となる物品（印鑑）を購入したほか、関連規定の整備と併せ、具体的取扱いについて役職員全員で情報共有し、適切に対応しました。
- ・大規模災害時における防災機能の強化に向け、災害時において、両施設が物流拠点等の機能を適切に果たせるよう、石川県産業展示館を訪問し、被災者支援に係る対応状況などについて聴取しました。（1月）

### 3 産業会館の運営状況

#### (1) 年間目標と結果

- ・各展示場の利用日数については、長期にわたる大規模博覧会、全国会議・新幹線関係会議等の開催と合わせ、新規イベント（18件）も増加し、目標を大きく上回りました。

《展示場における主な催事》

THE 恐竜 in 福井(5月、利用日数 37日)

2023 ゴールデンフェア 産業・機械工業見本市(6月)

ふくい全国産業教育フェア福井大会(10月)

北陸ディスティネーション・キャンペーン会議(11月)

- ・事業収益については、利用日数の増加、利用料金の改正のほか、新規利用の増加もあり、目標を達成しました。

[各展示場別利用日数および事業収益]

(単位：日、千円、%)

		年間目標	年 度				目 標 達成率
			5	4	3	2	
利 用 日 数	1号館展示場	220	255	226	207	133	115.9
	2号館展示場	220	238	216	176	155	108.2
	本館展示場	155	191	170	109	123	123.2
	多目的ホール	165	192	177	152	93	116.4
事業収益		140,000	163,529	135,639	106,469	81,018	116.8

## (2) 対応した主な取組

### ア 施設等の管理

- ・福井県産業会館施設修繕計画に基づき、施設設備の予防保全策として、天井からの漏水を未然に防ぐための防水工事（9月）や熱源機の不具合を解消するための工事（12月）を実施しました。

また、法令に基づき、変圧器内の有害物質（PCB）を除去するための工事を実施したほか、本館駐車場前の園地の芝張りやベンチ設置を進め、来場者の憩いの場の整備を進めました。（9～3月）

- ・景観の美化および長期にわたる使用を考慮し、本館展示場北側・西側壁面および1号館展示場西側壁面を良好な状態に保つための工事（壁のシーリング、高圧洗浄、壁面塗装等）を実施しました。（3月）
- ・北側交差点看板（広告塔）のLED照明への設備更新工事（10月）を行うとともに、利用予定の無い日を休館日に設定し、職務室を閉鎖する等により省エネに努めました。

#### 《主な修繕等の実績》

本館北側屋上防水工事	1,793 千円（9月完了）
キュービクル改修工事(変圧器)	2,968 千円(10月完了)
北側交差点看板(広告塔)の電灯設備更新工事	770 千円(10月完了)
吸収式冷温水機発生器修繕工事	8,910 千円(12月完了)
本館展示場北・西側壁面および1号館展示場西側壁面総合修繕	4,651 千円（3月完了）

### イ 情報発信

- ・HPについて、昨年度に引き続き全ての貸室の予約状況を月2回（毎月1日、15日頃）定期的に更新し、空室の最新情報を利用者が確認できるよう努めました。
- ・HPにイベント内容を掲載するにあたり、可能な限り主催者からチラシ等を提供いただき、HPで公開するなど来場者がイベントの詳細内容を容易に把握できるようにしました。

## 4 サンドーム福井の運営状況

### (1) 年間目標と結果

- 各ホールの利用日数については、イベントホールは、大規模な全国大会や展示会、企業による製品性能試験に加え、無料貸出による利用が増加しました。また、小ホールについても、新たに呉服展示会や労働団体による集会利用があり、両ホールとも目標を達成しました。

《イベントホールにおける主な催事》

第 45 回全国土地改良大会福井大会(10 月)

第 34 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト(10 月)

機械設備メーカーによる強風対応性能評価試験(11 月)

- 事業収益については、多くの収益が見込めるイベントホール利用において、アーティストの体調不良によるコンサートの中止や、能登半島地震に伴う関係行政機関の催事中止などにより、目標をやや下回りました。

[各ホールの利用日数および事業収益]

(単位：日、千円、%)

区 分		年間目標	年 度				目 標 達成率
			5	4	3	2	
利 用 日 数	イベント ホール	180	186	192	157	65	103.3
	小ホール	130	138	136	123	114	106.2
事業収益		164,680	160,488	176,585	172,539	35,819	97.5

### (2) 対処した主な取組

#### ア 施設等の管理

- 第 45 回全国土地改良大会福井大会（10 月）などの全国大会開催に併せ、催事前 1 か月間を環境美化取組強化月間とし、役職員による生垣剪定や除草・除草剤散布のほか、高木剪定やガラス清掃、廊下ワックスがけなどを集中的に行いました。

- ・安全・安心・快適な利用に向け、法令および指定管理仕様書に基づく定期点検を実施したほか、設備・備品の定期的な更新、施設の長寿命化を図る小規模修繕工事を実施し、適切な維持管理に努めました。
- ・照明LED化については、福井県による令和4年～6年度にかけて大規模工事が実施されるため、福井県と連携し、財団では即時対応が必要となる交換修繕を中心にLED化工事を進めました。

((主な修繕工事等))

- ・中央監視制御装置(機器取換工事等) 計5件 1,320千円
- ・無停電電源装置(バッテリーユニット・冷却ファンユニット等) 858千円
- ・移動観覧席収納庫敷板修繕 429千円
- ・照明LED化工事 計12件 4,772千円

## イ 自主企画事業

「次世代を育てる」を念頭に、県・市町はじめ関係団体等と協力し、“ふくいのものづくり”を主眼としたイベントや、スポーツ・文化に親しむイベント、子育て関連イベントなどを実施しました。

- ・「キッチンカーinサンドーム福井 Let's go go go」  
(5月、福井県クラシックカー行事共催)  
「第14回福井県クラシックカーミーティング」に合わせ、地域の賑わいづくりへの貢献を目的に、屋外広場に飲食サービスを行うキッチンカー出店エリアを設けました。  
キッチンカー出店:7台、イベント来場者数:約6,000人
- ・「おもしろフェスタ」(8月)  
“ふくいのものづくり”を基本テーマに子どもたちの育成に取り組む企業・団体等の参加を募り、県・市町、科学系・工業系高校・大学とも連携し、多彩な展示・実演・体験機会を子どもたちに提供しました。  
参加団体数:73(前回より10増)、来場者数:約7,000人
- ・「スポカル FUKUI2023」(12月、福井県スポーツ課行事共催)  
北陸新幹線福井・敦賀開業記念イベントとして、福井県出身のプロ野球選手の栄誉賞贈呈式や野球教室をはじめ、各種スポーツ&カルチャー体験を通して、その楽しさをPRしました。  
来場者数:約6,500人



- ・「サンドーム福井地域感謝イベント 2023」（2月）  
地域への謝恩と合わせ、SDGs活動の一環として、近く出産予定のご家族様向けセミナーを開催し、合わせて木製玩具等の展示、サンドームオリジナルグッズ（鯖江高校生がパッケージデザイン、地元企業が製造した昆布茶）を配布しました。  
来場者数：150人

## ウ 情報発信

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業（3月16日）に伴い、施設へのアクセス経路が変わるため、HPにて変更内容を事前（2月16日～）に周知しました。開業当日からは、FAQにてアクセス手段について詳述し、駅名の変更など所要の変更を行いました。
- ・イベントホール、小ホール、管理会議棟会議室の空き状況情報を、より迅速に提供するため、定期的（毎月1日と15日）に更新することとしました。
- ・「利用例示集」を刷新し、イベントホールの使用例や設備の内容、利用料金のほか、HPに掲載されている利用料金見積り機能の使用方法なども記載し、HPで公開するとともに県外営業に活用しました。（10月）
- ・HPにおいて、コンサート来場者向けに、コンサート当日、近隣観光地で開催されている催事情報や、サンドームと催事開催地・観光施設を結ぶシャトルバス運行情報などを紹介し、地域振興に協力しました。
- ・県外から多数の来場者が見込まれるコンサート開催時には、HPやSNSにて、随時、施設周辺の天気や気温について情報提供するほか、積雪状況（降雪時）、道路交通情報、交通機関運行状況などについて、公共機関等信頼できる情報提供先とのリンクを設け、「来場者お役立ち情報」として一元的に提供しました。

## 5 その他

### (1) 評議員会・理事会開催状況

令和5年5月15日 第1回理事会

- 報告 理事長・専務理事の職務執行状況
- 議案 令和4年度事業報告および決算（承認）
- 令和5年度第1回評議員会の招集（決議）

令和5年5月30日 第1回評議員会

- 報告 令和4年度事業報告
- 議案 令和4年度決算（承認）
- 議案 役員の選任（決議）

令和5年5月30日 第2回理事会（書面）

- 議案 理事長（代表理事）の選定の件（決議）
- 専務理事の選定の件（決議）

令和5年9月29日 第3回理事会

- 報告 理事長・専務理事の職務執行状況
- 議案 福井県産業振興施設(サンドーム福井)の  
指定管理者応募(案)の件（承認）

令和6年3月25日 第4回理事会

- 報告 理事長・専務理事の職務執行状況
- 議案 令和5年度収支補正予算書の件（承認）
- 令和6年度事業計画および収支予算書の件(承認)
- 令和5年度第2回評議員会の招集（決議）

令和6年3月31日 第2回評議員会（書面）

- 議案 評議員の選任の件（決議）
- 役員の選任の件（決議）

### (2) 福井県産業振興施設指定管理者外部評価委員会

令和6年3月12日に開催され、業務実施状況の評価としては、「北陸新幹線開業後のアクセスに課題はあるものの、概ね良好」との評価をいただきました。